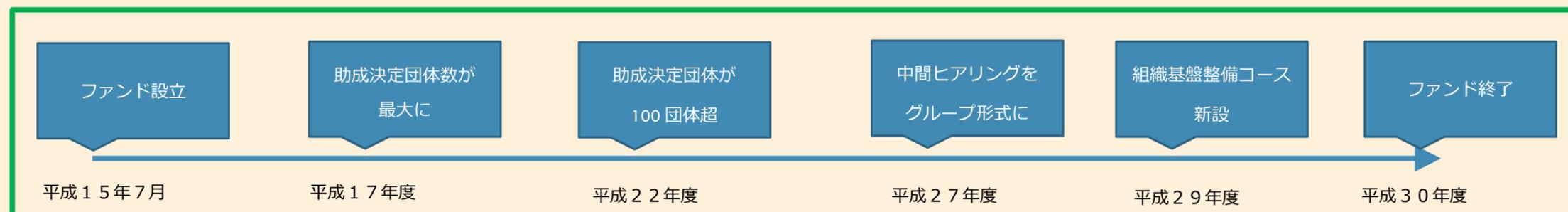


公益信託ひらつか市民活動ファンド 15年のあゆみ

平成15年度から神奈川県知事の許可を受けて助成が始まりました「公益信託 ひらつか市民活動ファンド」は、市民が互いに協力して社会の様々な課題に対し自発的、自律的に行う、営利を目的としない公益性のある活動を行う団体の活動を対象とし、これまで多くの団体に助成をしてきました。開始から15年が過ぎ、助成残余额が僅かとなったため、平成30年度助成分でファンドの歴史に幕を閉じることとなりました。終了にあたり、これまでのあゆみをまとめました。ぜひ多くの方に手にとっていただき、ファンドについて知っていただければ幸いです。



助成総額

合計 3,019万円

入門コース 456万円
 発展コース 2,463万円
 組織基盤整備コース 100万円

助成団体

延べ164団体

入門コース 61団体
 発展コース 98団体
 組織基盤整備コース 5団体

寄付総額

合計 5,356,562円

御寄附頂いた皆様(敬称略)

助成団体一覧

親水公園ホテル保存会、スマイルキッズクラブ、平塚をみがく会、NPO 法人ワーカーズ・コレクティブきしゃポッポ、子供と親の環境教室「地球っ子ひろば」、花水福祉コミュニティグループ、ひらつか市民自治ネットワーク、ひらつかフェアトレードカンパニー、車椅子社交ダンス普及会平塚支部、ミュゼ、ほおずきの会、楽しい本との出会いをひろげる会、ひらつか防災まちづくりの会、ひなたぼっこ、陽だまりの会、金目川水系流域ネットワーク、愛編ガーデン、「平和を語りつぐ」実行委員会、そだちサポートセンター、みんなでつくる平塚、NPO成年後見湘南、NPO法人平塚のらネコを減らす会、全国市民活動まつり実行委員会、ひらつか文化財ガイドボランティア協会、NPO法人湘南ダンベル体操協会、脳外傷友の会・ナナ 平塚地区会、神田地区子ども読書活動推進協議会、まちづくり勉強会、NPO 法人相模川倶楽部、うらら、平塚やまびこ会、旭北介護予防推進会、ステキな出会いを広げる会ぜんぜん、サンデースイミングラッコの会、遊びの会ドラゴン、アフターマーチの会、花姿 八重咲、NPO 法人平塚・暮らしと耐震協議会、PHILIP湘南、平塚友の会、ひらつか自治体財政研究会、手話サークルつばさ、湘南探偵団、NPO法人かながわ天ぷら油回収センター、一般財団法人 平塚YWCA、NPO 法人こぐまの会、湘南の美術を学ぶ会、寸劇いまいち一座、演劇集団群生、ごみを活かす会、かながわうさぎ、居場所 ほのぼの、おもちゃの病院 ドクターくるりん、劇団AGAIN、平塚地区自閉症児・者親の会、湘南の森、食事サービス ワーカーズ・コレクティブごちそうさま、渋田川愛護サークル、サムライなでしこ草刈りの会、やよい会、朗読「糸の会」、平塚ぞうれっしや合唱団、サポーターハウス「ひだまり」、ほんわかママ、平塚ユニバーサルデザインプロジェクト、ひらつか悪徳商法バスターズ、NPO 法人ぜんしん、災害時要援護者支援 連絡会、市民科学会議@ヒラツカ、地域活性化団体Revolutions、災害から未来(あす)を守る会、平塚 花のまちづくりの会、ひらつかげんきプロジェクト、ゆくりあ、子ども余暇支援団体 こどもよかよか、福島親子とともに平塚、Green Gravity Ground、-平塚ゆかりの作家-中助を知る会、子育て応援ネット 虹のつばさ、親の会 パレット、ひらつか市民花サポートグループ、湘南ひらつかビーチクラブヨット部会、土屋ざる菊愛好会、NPO 法人 NPO 教育かながわフォーラム、子ども学習支援グループ 須賀の寺子屋、カベラ日本語の会、親と子の寺子屋 ふれあい自遊塾、湘南ひらつか・ゆるぎ地区活性化に向けた協議会、NPO 法人湘南 NPO サポートセンター、朗読会、NPO 法人未来経験プロジェクト、First Step(ファーストステップ)、NPO法人暮らし・つながる森里川海

御寄附頂いた皆様(敬称略)

社団法人平塚青年会議所、神奈川県立平塚江南高等学校生徒会、積水ハウス株式会社湘南支店、湘南リンパ四季の会、ふくろうの会、ひらつか市民活動センターまつり実行委員会、市川商事株式会社、NPO 法人湘南NPOサポートセンター、NPO 法人うらら、市民病院売店組合、千葉英司、熊沢博樹、スーパーD´ステーション平塚駅前店、株式会社一平不動産、ひらつか市民活動連絡協議会、ひらつか自治体財政研究会、一般社団法人日本リンパ協会、ペットキャップリサイクル湘南、グランドホール金目店、たすけ愛文庫、センター設置募金箱、他匿名

たくさんの応援ありがとうございました！

助成を受けた団体の感想(抜粋)

- ・ファンドを通して、市民の皆さんが私たちの活動を認めてくださったことが嬉しいです。これからは、自立を目指して頑張りたい。
- ・3回ファンドをいただいて活動してきました。その成果がいろいろな方につながり、団体間で連携して横同士のつながりが強くなりました。
- ・いろいろな所と連携を作っていて、「共に」が大事。そういうモデルを作っていくのが私たちの一段階だと思っています。
- ・連携、理解して下さる会社、企業、団体とネットワークを広げていきたい。
- ・ファンドを獲得して活動をしたことで団体の信頼度が高まったと感じます。行政や学校などとも話ができるようになりました。
- ・メンバーを増やしたり、組織を見直したりと初心に戻った活動をしていきたいです。これからは新しい資金調達方法も考えていきたいです。
- ・平塚にはこんなに良い団体があるんだ、と思ってもらいたいです。切磋琢磨して仲間を増やしていきたいです。行政と手を組んだり、また、外部の方とタイアップして活動を広げたいです。
- ・組織全体を見直すことができ、メンバーの意識も変わった。今後どうやって活動を充実させるかが課題。細やかな支援ができるよう、また他団体との連携もできるようにしたい。



審査会で事業を説明する団体



団体に質問する運営委員



報告会で活動成果を説明する団体

運営委員長の講評(抜粋)

- ・活動の成果が広く公に及ぶ内容であることをしっかりと説明できること、助成金に頼り切った事業計画ではなく、“団体経営”という視点から、事業実施における収入を確保した予算を作ることが大事。
- ・仕事や家庭その他いろいろとお忙しい中での活動で本当にご苦労が多々あったんだろうと思います。皆さん遠慮されてか報告の中では言われませんでした。成果を出すための苦労話も少しはおっしゃっていただいてもよかったのではないかと思います。皆さん立派な報告をしていただいたことに感謝します。今後の活躍を期待します。
- ・みなさんとてもいい活動をしていらっしゃる。それを続けていくための組織基盤を今後きちんと整えていただけると更に良いステップアップになると思います。
- ・現在、市民活動全体の価値が高くなっている。ニーズを発見して課題を解決しようとする、または社会の問題を見つけて解決しようとしている。そういった活動を我々はいち応援したくなる。社会を作るのは政治でもなく、企業でもない。改めて市民活動の役割を考えたい。